

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
第 17 期(2016 年 7 月～2017 年 6 月)通常総会
議案書

- ・第1号議案 第16期(2015年7月～2016年6月)事業報告
- ・第2号議案 第16期(2015年7月～2016年6月)決算報告
- ・第3号議案 第17期(2016年7月～2017年6月)事業計画
- ・第4号議案 第17期(2016年7月～2017年6月)予算

日時:2016年8月28日(日)16:30～18:00

場所:はまどま(横浜市南区宿町2-40-119)

第 1 号議案 第 16 期事業報告 (2015 年 7 月～2016 年 6 月)

第 16 期は、2008 年の組織改革による成果と課題が明確になり、来期以降の新たな活動展開に向けた動きが起こり始めた期間であった。

NORA は、設立当初のキャッチフレーズ「里山でシゴトする！」を、改革以降のセカンドステージでは「里山とかかわる暮らしを」へと変更し、仕事よりも暮らしに重きを置いて活動を進めてきた。これにより、財務状況の改善とスタッフ・参加者の増加 (1,240→1,505→2,144) を図ることができ、その成果は定着したと言える。

しかし、一方でスタッフの平均年齢は高まっており、私たちが里山と持続的な関係を維持・向上していくためには、里山の萌芽更新よりもむしろ、里山とかかわる人びとの若返りが課題となっている。そのためには、社会側の再生産が可能となるような産業の創造・雇用の創出が求められよう。もちろん、ここで言う産業・雇用は、生活を犠牲にしたり、ブラック企業を増やしたりするものであってはならない。あくまでも、セカンドステージで大切にしてきた「里山とかかわる暮らし」をベースにした (カセギではない) シゴトづくりと、競争社会ではない共生社会のための NPO を目指す必要がある。それが、これから向かうべきサードステージの目標となるだろう。

以下、事業カテゴリごとに、今期のプロジェクトを振り返る。

まず、ヤマ事業の「NORA の山仕事」は、昨期に続いて林野庁の森林・山村多面的機能発揮対策交付金を得て、活動の基盤となる収支構造を改善できた。しかし、この交付期間は平成 28 年度までなので、「森の中で憩える空間づくり」を進めつつ、その社会的・環境的価値を発信し、広く人的・金銭的に支援される森づくりを目指したい。一方、「よこはま里山レンジャーズ」は、レンジャーズ派遣の調整を公園の指定管理者等から有償で請け負うことが増えている。これを雇用創出へと繋げるためには、今期から取り組んでいる若手ボランティアリーダーの人材育成を進め、軌道に乗せていきたい。

新プロジェクト「まちの近くで里山をいかすシゴトづくり」は、「里山でシゴトする！」への原点回帰のようだが、設立当初と違って、NORA がプレイヤーとなって働くことよりも、コーディネーターとなって若手の実践者や社会的起業家などを支えていくことを目指している。さいわい、関係者から高い関心を集めつつ、多数の人びとを巻き込んで始動できたので、来期以降も着実に進めていきたい。

ノラ事業の「森と畑と音楽と」は 3 期目を迎え、学生スタッフを巻き込みながら環境整備についてはほぼ完成形が見えてきた。活動は安定期を迎え、BBQ などイベントでの利用者は約 300 名となり、多様な人びとが集う場となっている。来期は、NORA の広報媒体を生かして情報発信に努め、活動の柱の一つである音楽を定期的に楽しめるようにしたい。

ムラ事業の「はまどま」プロジェクトでは、「もったいないから竹細工」が堅調である。竹かご教室には、定員を上回る希望者から申し込みがあるが、そのことよりも、自主的な活動である竹細工工房や「竹を活かす山仕事」への参加者が増えて、竹細工にかかわるコミュニティが厚みを増している点を強調したい。神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金の交付期間は平成 28 年度までであるが、活動が安定して継続できている間に、自立的に運営できる仕組みづくりを試行錯誤していく。

「神奈川野菜の食事会」は、記念すべき第 100 回を迎えることができた。地元の野菜を共に食すというコンセプトは時代を先取りしていたが、そうした場の必要性が当たり前語られる今日、どういう方向で継続していくのか再考すべき好機としたい。「はまどまで土間仕事」「はまどま手習い塾」、さらに、再開した「はまどまシアター」は、いずれも参加者数は昨期より増加したものの、持続的に運営できる体制をつくるには、まだ時間を要する。運営スタッフが不足しているので、先を見通した計画づくり、広報戦略を立てながら、関心層を巻き込みながら展開していきたい。

「はまどま」のある地域との連携は深まっているが、NORA のミッションと地域活動を有機的に結び

つけていくことは難しい。サードステージを展開していく際、「はまどま」がシゴトづくりの拠点となりえるか、その潜在的な可能性（ポテンシャル）を見きわめることも必要になっている。

イキモノ事業としては、「トンボはドコまで飛ぶかフォーラム」に加入したことにより、臨海部へと活動の領域を広げることができた。また、よこはまかわを考える会との関係も深まり、森里川海の間で連携しやすい環境が整ってきた。

広報事業では、スマホに対応できるようにウェブサイトを更新できた。ウェブサイトとソーシャルメディアの使い分けは不十分であるが、メルマガとサイトの連動、紙媒体の中間報告による補足的な情報提供は効果を発揮している。

受託事業では、当初予定していたものに加えて人材育成講座を受託できたことから、法人全体の収益性を高めることができた。全体の収支構造上、依然として一定の受託事業収入は必要なので、NORAらしきを生かしつつ、社会的なニーズを満たすことで収益性を高めたい。その際、中長期的な視野に立って、若手の人材育成を図りながら進めていきたい。

自主事業

里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

1. ヤマ事業

1) NORAの山仕事（平成27-28年度林野庁森林・山村多面的機能発揮対策交付金）

川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）をフィールドに、「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくとともに、森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する活動をおこなっている。定例活動は毎月第2・第4日曜日に実施した。

第16期は、「森の中で憩える空間」づくりを目的に、製材や丸太の皮むきなど、間伐材の利活用を中心に活動をおこなった。苗場をはじめ林床整理の頻度を高めることで、手入れの行き届いた環境を維持できた。定例活動以外に、「やま守り編」と称して、補足的に林内環境を整備した成果も表れたと思う。

参加者数は、定例活動のべ257名（昨期290名）、やま守り編のべ39名だった。また、2016年2月～3月、東洋ガラス機械（株）から5名の参加者があり、地元企業との連携も継続している。来期は、「森の中で憩える空間」づくりを継続させるとともに、製材用の間伐材などの保管方法を改善させたい。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/12（日）	下草刈り、薪割、間伐材利活用 ※レンジャーズ18名	30	1
7/26（日）	下草刈り、薪割、間伐材利活用	8	1
8/9（日）	苗場下草刈り、間伐材利活用準備、外周道路草取り	6	1
8/23（日）	苗場下草刈り、間伐材利活用準備、外周道路草取り	8	1
9/13（日）	薪材整理、薪割、製材、間伐材利活用	12	1
9/27（日）	刈り払い講習、間伐材利活用、丸太の皮むき、	9	1
10/11（日）	製材、丸太の皮むき、薪材整理、薪割	7	1
10/25（日）	製材、丸太の皮むき、薪割、間伐材利活用	10	1
11/8（日）	雨天中止	0	1
11/22（日）	若手リーダー研修、間伐材利活用	12	1

12/19 (日)	間伐材の積込み、間伐材利活用、風倒木の間伐	4	1
12/27 (日)	製材、皮むき、間伐材利活用	11	1
1/10 (日)	製材、皮むき、間伐材利活用 (柱材加工)	10	1
1/24 (日)	製材、皮むき、間伐材利活用 (柱材加工)	7	1
2/14 (日)	間伐、製材、間伐材利活用	8	1
2/28 (日)	間伐、運材、チップ化支援 ※東洋ガラス 3 名	15	1
3/13 (日)	製材、皮むき、間伐材利活用 ※東洋ガラス機械 2 名	8	1
3/27 (日)	皮むき、材の積み直し、間伐材利活用	12	1
4/10 (日)	下草刈り、除伐、	9	1
4/24 (日)	下草刈り、除伐	7	1
5/8 (日)	製材、草刈、苗場境界地片づけ、皮むき	11	1
5/22 (日)	間伐材利活用、草刈、除伐	9	1
6/12 (日)	間伐枝集積、植林地草刈、製材、除伐、間伐材利活用	11	1
6/26 (日)	外周道路草刈、間伐エリア下草刈り、製材	9	1

233

24

【やま守り編】

実施日	活動内容	参加人数
7/2 (木)、7/20 (月)、8/16 (日)、8/31 (月)、10/12 (月)、10/19 (月)、11/1 (日)、11/29 (日)、12/6 (日)、12/31 (木)、2/6 (土)、2/8 (月)、2/18 (木)、2/22 (月)、3/5 (土)、3/15 (火)、4/2 (土)、4/13 (水)、4/16 (土)、4/30 (土)、5/1 (日)、5/7 (土) 5/29 (日)、6/4 (土)、6/20 (月) ※計 25 日	竹林間伐・施肥、間伐・林床整理、草刈り・機械除草、土留め、伐採木搬入、竹・薪置場施工、資材置き場補修、薪材・板材・丸太整理、焼き杭加工、廃材焼却、苗場片付け、苗の下準備など	39

2) よこはま里山レンジャーズ (連携：認定 NPO 法人自然環境復元協会 (NAREC))

本事業は、里山保全活動を始めようとする主に若い世代と、活動支援を必要としている既存の活動団体とをつなぐマッチングプログラムである。NAREC の「レンジャーズプロジェクト」に登録したボランティア＝レンジャー (約 2,200 名) に対し、各フィールドからの出動要請を発信し、参加を希望するレンジャーが 10～20 名程度のチームを組んで参加するため、初めてでも参加しやすいという長所がある。

4 期目を迎えた第 16 期は、NORA 関係者と関わりの深い市内 8 か所のフィールドにおいて、のべ 13 回実施し、のべ 156 名 (昨期 15 回実施、88 名参加) の参加があった。参加者には初心者だけでなくリピーターも多く、最近では 40 代以上の参加も多い。世代を超えた活動として役割の拡大も期待される。

活動を安定的に実施していくために、一定の運営費を確保する必要がある。このため、第 14 期から指定管理者が運営している公園等に対して、有償でレンジャーズ派遣を行うことを試みている。昨期は 1 団体にとどまったが、今期は、(公財) 横浜市緑の協会、NPO 法人新治里山「わ」を広げる会、横浜にとんぼを育てる会、(株) 日産クリエイティブサービスの 4 団体から派遣料を徴収できた。これが、昨期に比べてレンジャーズの実施回数、参加者の増加につながっている。

回	実施日	実施場所	受入団体	参加者
1	7/12 (日)	川井緑地	NPO 法人よこはま里山研究所	18
2	8/1 (土)	新治の谷戸田	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会	18
3	9/6 (日)	長浜公園	(公財) 横浜市緑の協会	16
4	9/27 (日)	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	10
5	11/7 (土)	瀬上市民の森	瀬上さとやまもりの会	9
6	11/22 (日)	恩田の谷戸	恩田の谷戸ファンクラブ	12
7	1/16 (土)	桜ヶ丘緑地	桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト	14
8	2/6 (土)	長浜公園	(公財) 横浜市緑の協会	17
9	2/14 (日)	川井緑地	NPO 法人よこはま里山研究所	雨天中止
10	4/17 (日)	入船公園	(株) 日産クリエイティブサービス	10
11	5/28 (土)	新治の谷戸田	NPO 法人新治里山「わ」を広げる会	9
12	6/4 (土)	元町公園プール	横浜にとんぼを育てる会	15
13	6/26 (日)	入船公園	(株) 日産クリエイティブサービス	8

156

<若手ボランティアリーダーの育成> (協力：かんぼ生命保険株式会社)

2015年11月15日(日)・22日(日)には、登録レンジャーやNORAの山仕事に参加する若手メンバーを対象として、「里山保全ボランティアの若手リーダー育成講座」を開催した。1日目は、志賀壮史さん(NPO法人日本環境保全ボランティアネットワーク)を招聘し、にいほる里山交流センターにて、リーダー概論、リスク・アセスメント、リスク・マネジメント等に関する講座を開催した。2日目は川井緑地にて、一日の作業をリーダーとして組み立てられるように、危険予知安全作業のための活動計画、道具の使い方、樹木伐採などを体験的に学ぶ機会を設けた。受講者は13名で、年齢層は全員20~40代だった。志賀さんの講義は非常に有意義であったが、単発的な講習会になってしまったこともあり、来期は包括的なプログラムを実施したい。

3) 竹を活かす山仕事 (平成27-28年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)

手入れが行き届かなくなった竹林は拡大して、農耕地や生活環境を侵食するなど、里山の景観に大きな影響を及ぼしている。竹林を手入れすることで畑を守り、里山生態系のバランスを保つために、原則月1回、中井町でお世話になっている農家の竹林を整備した。

第16期も神奈川県補助事業に採択されたため、安定した内容を継続できた。竹細工の参加者を誘い込むことにより、参加者数がのべ84名(昨期67名)と増加した。

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/19 (日)	間伐、材の伐り出し	7	1
10/18 (日)	間伐、材の伐り出し	5	1
11/21 (土)	間伐、材の伐り出し	10	1
12/20 (日)	間伐、ミニ門松資材伐り出し	6	1
1/17 (日)	間伐、材の伐り出し	6	1
2/21 (日)	間伐、材の伐り出し	8	1
3/20 (日)	間伐、材の伐り出し、	10	1

4/9 (土)	間伐、材の伐り出し	9	1
5/15 (日)	間伐、材の伐り出し	8	1
6/19 (日)	間伐、材の伐り出し、草刈り	5	1
		74	10

※8-9月は酷暑のため活動は休止とした。

4) 山道具の安全使用

株式会社シンコー社とサブ店契約を締結（2011年6月）してから、チェーンソーメーカー（スチールSTIHL）の代理店業務を担い、より安全性を高めた緑地保全活動用の機材使用の啓発をすすめている。

第16期は、関連する森林整備実施団体やヤマ仕事の参加者などへ良質なチェーンソーを市価より安く販売するとともに、チェーンソーのオーバーホール、バイオチェーンオイルや安全チャプスなど環境と安全に配慮した物品類を供給することができた。実績としては、チェーンソー2台、バッテリー式刈り払い機1台、トング・安全チャプス・ソーチェーン・チェーンオイル等を販売。チェーンソー1台、耕運機1台のオーバーホールを扱った。

5) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり（協力：かんぼ生命保険株式会社）

2016年1月13日（水）・20日（水）、横浜市市民活動支援センターにて、連続ワークショップ「まちの近くで里山をいかすシゴトづくり」を開催した。都市近郊で里山保全活動をリードしてきた方や、里山資源をいかして仕事している若手から話題を提供していただき、メンバーの固定化・高齢化の課題を解決し、世代交代を促すためにはどうすればよいか、ワークショップ形式で話し合った。話し合いの成果は、インターネット上に公開して、誰でも閲覧できるようにした。

参加者は2日間で75名（1日目64名、2日目53名、のべ129名）にのぼり、年齢層は40代が最多で、20-30代の参加者も多かった。参加者の所属は、行政、市民団体、企業、大学など幅広く、実際に里山とかかわる仕事をしている人が多数集まった。

4月にプロジェクトを立ち上げて参加者を募ったところ新たに17名が加わることとなり、協議会メンバーを加えてML[satowork]を立ち上げた。その後、5/21（土）は長池公園で、6/19（日）は新治里山公園でワークショップを開催。来期に入ってから、テーマ別ワークショップ、シンポジウム等の開催を予定している。

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と

丹沢東麓に位置する厚木市の里山における活動で、2013年秋、若い世代でこの場所を活用できないかとの相談を受け、2014年から手探りでスタートした。活動の目的は農地管理が第一だが、参加者を増やすために様々な仕掛けが必要となる。そこで、「自然の中での様々な活動を通じて、幅広い年齢層、異分野の人々が集い、有機的に結びつく空間の創造」を目標として、この土地に多くの人が関心を持ち、活動に来ることが楽しいと思える活動を行い、長期的に関われるシステムをつくりたい。

第16期は、第14～15期の活動の延長として環境整備を中心に活動をおこない、おおよその完成形が見えてきた。栽培面に関しては、第15期に区割りした畝を壊さず、そのままの形で利用した。第15期同様マルチを多用し、管理面での負担の軽減を図った。また、ビニールマルチの他に草マルチも取り入れた。フィールドでは、小型重機を使って最奥部を手入れ、整地したうえで、物置テントを移動させた。休憩小屋の設置もおこなった。これは、2日間かけてワークショップ形式で中学生とともに製作した。ウッドデッキ上にはフレームを組み、簡易的な屋根をすぐにかかけられるような工夫をした。水道を引い

てきたことで、散水や調理などの作業効率が向上した。活動日はのべ77日（昨期77日）で、週1日～2日程度を基本ベースに活動をおこない、のべ参加人数は494名（昨期320名）となった。

今期も中学生や大学生、家族など参加者の多様化が見られた。日常の管理に携わるスタッフとして農業高校出身の大学生が定期的に参加するようになったのが、今期の大きな成果である。来期は活動の柱の一つである「音楽」が定期的に行えるようにしていきたい。

実施日		活動内容	参加人数
7月	5（日）12（日）18（土）19（日）23（木）26（日） ※計6日	草刈り、草取り、収穫、BBQ、野菜苗植え、川遊び、昆虫採集、ピザ窯の屋根作り	19
8月	1（土）2（日）7（金）8（土）15（土）16（日）17（月）19（水）22（土）23（日）25（火）27（木）29（土） ※計13日	草刈り、草取り、水やり、収穫、播種、野菜苗植え、支柱立て、堆肥を鋤き込む、小型重機で整地、ピザ焼き、ピザ窯の屋根作り、結婚式イベント準備	33
9月	5（土）11（金）12（土）27（日） ※計4日	草刈り、草取り、収穫、播種、BBQ、 <u>結婚式イベント（参加者208名）</u>	222
10月	3（土）12（月）18（日）25（日） ※計4日	収穫、播種、野菜苗植え、BBQ、上映会打ち合わせ	15
11月	1（日）7（土）11,14（土）16（月）22（日）28（土） ※計7日	草刈り、収穫、野菜定植、伐採、薪作り、小屋作り準備、クラフト、BBQ、焼芋、小学生イモ掘り体験、 <u>結婚披露パーティー&ミニライブ（参加者36名）</u>	56
12月	12（土）20（日）26（土）28（月）30（水） ※計5日	収穫、小屋作り準備、ミーティング（反省会）、BBQ	15
1月	5（火）11（月）16（土）17（日）23（土）30（土）31（日） ※計7日	収穫、小屋作り準備、屋外テーブルの改修、耕耘、BBQ、 <u>上映会・勉強会（参加者17名）</u>	29
2月	7（土）13（土）14（土）19（金）21（日）27（土）28（日） ※計7日	収穫、堆肥鋤き込み、小屋作り、BBQ、燻製器作り	18
3月	6（日）12（土）13（日）20（日）26（土）27（日）29（火） ※計7日	野菜苗植え、収穫、畝作り、堆肥鋤き込み、マルチがけ、小屋の屋根の補修、BBQ、燻製作り、ジャガイモ植え、薪の調達	21
4月	3（日）10（日）17（日）24（日） ※計4日	野菜苗植え、収穫、燻製作り、カホン（楽器）作り	7
5月	1（日）3（火祝）8（日）15（日）22（日）28（土）29（日） ※計7日	草刈り、野菜苗植え、果樹苗植え、収穫、カホン（楽器）作り、 <u>親睦BBQ2回（参加者24名+10名=計34名）</u>	43
6月	3（金）5（日）8（水）12（日）19（日）26（日） ※計6日	草刈り、野菜苗植え、収穫、小屋の移動	16

494

持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

「はまどま」発足後、2016年6月で丸8年が経過した。里山の入り口、里山を都会の暮らしに活かす実践の場として、多様な企画を実現することができた。地域の皆さんの暮らしに役立つ場としても、宮宿花1・2丁目町内会、蒔田公園公園愛護会、大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあど」実行委員会などに参加し、信頼関係を積み重ねてきた。第16期では、はまどまシアター×郷土映像ラボラトリーの上映会の定例化、スイーツメイキングと野菜市の同時開催の定着のほか、神奈川野菜の食事会第100回到達も実現できた。光のぷろむなあど実行委員会の一員として「金沢文庫芸術祭～1DAY イベント」に参加したことも貴重な経験となり、光のぷろむなあどの企画「光の胎内」に活かすことができた。

(1) NORA 野菜市

毎週火曜日 17時～19時、大和ビル駐車場にて、神奈川県内・生産者限定の野菜市として開催し、2016年暮れには丸12年になる。この間、福島第一原子力発電所の事故による放射線汚染という重大な被害を経て、TPP交渉の成り行き次第では、日本農業の崩壊という危機にある。国の農業政策は、あいかわらず規模拡大を求めているが、食糧自給率目標は45%に引き下げられ、実態は40%にも届かない。

日々の暮らしに欠かすことのできない食糧を、身近な交流できる生産者から得ながら、安心・安全な食糧生産ができる「環境」に暮らせることの意味を問い続けている。第16期は応援を得て、試食コーナーを設けることを心がけた。

(2) 神奈川野菜の食事会

第16期は5回開催し、のべ95名（昨期103名）の参加者があった。主宰者の都合もあり開催頻度が少なくなったが、3回は遠藤ミホさんの尽力で開催でき、2016年1月に記念すべき第100回を開催することができた。第100回食事会では、参加者の持ち寄りバラエティーに富んだ食卓となった。これは、『タウンニュース』南区版にも紹介された。この間、約10年に及ぶ食事会は、時代の背景を反映しながら開催を続けることができた。

今日、生産者が明らかで地元の作物を料理に使うことが、珍しくない状況が生まれている。それでは、地産地消は暮らしに定着したのか、日本の農業の未来に展望は開けているのかというと、担い手は減少、耕作放棄地は増える一方である。今期の食事会については、計画・準備・記録・情報発信を丁寧に取り組むことを心掛けたが、来期も必要なことだと考えている。

回	実施日	内容	参加人数
97	7/5 (日)	遠藤ミホさんの季節の食卓～夏	25
98	9/22 (月)	神奈川野菜料理のバイキング	18
99	11/29 (日)	遠藤ミホさんの季節の食卓～冬	14
100	1/30 (土)	参加メンバーで持ち寄りごはん	25
101	6/18 (土)	遠藤ミホさんの季節の食卓～スパイスたっぷり編	13

95

(3) もったいないから竹細工（平成27-28年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金）

里山では手入れされなくなった竹林が生い茂って、邪魔物として扱われている。かつては有用だった竹を生かせないのはもったいない。そこで、竹林整備の際に出てくる竹材を有効に生かすために竹細工を製作している。毎月第2土曜日開催の竹かご教室では、講師に指導を受けながら、六つ目編みを基本

とした竹かごを全 12 回で 7 作品をつくる。第 4 土曜日開催の竹細工工房では、竹かごを編むための竹ひごの準備のほか、竹へら・菜箸・パスタフォークなど（カトラリー）、様々な食器もつくる。

第 16 期は、竹かご教室に修了期間を設けたことで、教室の参加者が竹細工工房へと移行する流れをつくることができた。一方、竹細工工房は竹かご教室に比べて製作する作品課題が明確ではないため、参加者に過大な負担を与えてしまう課題が見えてきた。来期は、竹細工工房でつくる課題をメニュー化するなどして、参加者への負担軽減に努めたい。また、竹かご教室に人気が集中して、毎回キャンセル待ちが発生している状況が続いている。来期からは、竹細工工房の実施日を平日に 1 日増やして参加者の分散化を図り、キャンセル待ちの解消、教室の新規参加者の受け入れを試みる。この対策により、竹細工事業へ関わる新たな参加者層の開拓に努めたい。第 16 期は竹かご教室にのべ 137 名（昨期 135 名）、竹細工工房にのべ 160 名（昨期 135 名）、合計 297 名（昨期 270 名）の参加があった。

【竹かご教室】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/11（土）	四海波、収穫かご	11	2
8/8（土）	四海波、六つ目かご、収穫かご、菱四つ目	10	2
9/12（土）	四海波、収穫かご	8	2
10/10（土）	四海波、麻の葉	10	2
11/14（土）	四海波、収穫籠など	9	2
12/12（土）	四海波、麻の葉かご、など	9	2
1/9（土）	四海波、麻の葉、収穫かご	9	2
2/13（土）	水切り、収穫、菱四つ目、麻の葉、丸口、四海	10	2
3/12（土）	収穫仕上げ、菱四つ目、水切り、麻の葉	10	2
4/9（土）	四海波、六つ目、収穫かごなど	9	2
5/14（土）	水切り、菱四つ目、四海波かごなど	9	2
6/11（土）	水切り、丸口、六つ目かごなど	9	2

113 24

【竹細工工房】

実施日	活動内容	参加者	スタッフ
7/25（土）	竹ひご作り、カトラリー	10	1
8/22（土）	竹ひごづくり、かご編み準備	9	2
9/26（土）	竹ひご製作、風車など	10	2
10/24（土）	竹ひご作り、かご編み	12	2
11/28（土）	竹ひご作りなど	12	2
12/26（土）	ミニ門松づくり、へら作り	13	3
1/23（土）	ひご作り	12	2
2/27（土）	ざる編み、竹ひご作り、銚掛け	11	3

3/26 (土)	竹ひご作り、カトラリー	10	2
4/23 (土)	竹ひご作り	13	3
5/28 (土)	竹ひご作り、	10	2
6/25 (土)	竹ひご作り	11	3

133 27

(4) はまどまで土間仕事

第16期は「醸女」の出現と川口糰店（瀬谷区）との出会いにより賑わった。発酵好きの逸原潤子さんが足繁く「はまどま」に来て、多くの調味料（塩糰、みりん、味噌、ヤンニョム、酵母味噌など）を手作りする機会増えた。川口糰店の指導による味噌作りは、秋と春に開催したが、すぐに定員が埋まるほど人気がある。今期は、多くの参加者を受け入れるために大和ビル2階会議室を借りたが、来期も定員を増やして開催する予定である。また、今期は初めて梅干しを漬ける講座も開催できた。しかし、代わりに、らっきょうや梅シロップ等の講座は開催できなかった。

発酵、手作りのブームは落ち着いてきたが、それは生活の中に定着してきたからかもしれない。手作り、手仕事の面白さを「はまどま」から広げるために、来期は土間仕事として縫い物の分野も始めたい。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
9/3 (木)	今日も美味しく味噌と糰の会	4	2
9/13 (日)	満月の丸い献立の会～暦とご飯の会	4	1
9/16 (水)	肉まんを手作りしよう	12	2
10/15 (木)	発酵祭り！ヤンニョム、塩麴を作ろう	7	1
11/19 (木)	川口糰店さんと味噌作り	30	2
2/11 (木)	みりんを手作りしよう	5	2
3/17 (木)	酵母味噌作り	5	2
4/23 (土)	川口糰店さんと麦味噌作り	28	2
5/19 (木)	玄米酵母の会	7	2
6/13 (金)	デコ巻き寿司を作ろう	5	2

113 22

(5) NORA サロン

今期もNORAメンバーのつながりの中から話題を提供していただき、夕食をとりながら議論を深めた。竹林の整備がゴールではなく、良くなった竹林空間をどう活かすかが大事という話、小笠原から旬のトマトを取り寄せ、移住、漁、農という生活の側面から見た小笠原の話、横浜にある畑と生産者と人を結び取り組みの中で得たかかわりの深さなどを学んだ。

実施日	内 容	話題提供者	参加人数
10/20 (火)	竹林と竹文化を守るシゴトづくりの戦略	平石 真司	13
5/24 (火)	小笠原の農業を聞く、知る、食べる	有川 美紀子	14
6/17 (金)	横浜の農のあるまちづくり	田並 静	11

38

(6) はまどま手習い塾

第 16 期は少しずつ開催の輪を広げていった。しかし、まだ情報が必要なところに届いていないようだ。お香も手作りコスメも女性の興味を引くものだと思うが、集客にうまく結びついていない。それでも、お香づくり講座は4年が経過した。植物の力を借りて自らを調えるというお香の本質を大切に、里山の恵みから香原料をつくり、リピーターも出てきた。

①気楽に気軽に薬膳おさらい会（内倉和子さん）

参加者からは「もっと早くから参加すれば良かった、今後も参加したい」と感想をいただくが、参加者数は伸びていない。来期からは「薬膳で神奈川野菜の食事会」として、さらなる魅力作りと参加の呼びかけ範囲を広げていく。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
1/24（日）	冬の薬膳（腎を養生する）	3	3
2/28（日）	早春の薬膳（陽の気を養う薬膳）	2	3
6/26（日）	梅雨の薬膳（体内の水分を排出する薬膳）	2	3
		7	9

②季節の素材でスイーツメイキング（山本美香さん）

5月から名称を「スイーツづくり」を「スイーツメイキング」に変更。少しずつリピーターが増えてきた。野菜市の来訪者が参加されたり、はまだま掲示板を見て遠方より参加される方もあった。毎回、野菜市との連携を意識しつつ工夫を凝らしたメニューが人気である。来期はさらなる参加者の増加を目標とともに、生産者紹介をプリントして、メニューとともに渡す予定にしている。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
8/18（火）	夏編（ズッキーニピザ、すいかゼリー）	14	2
10/13（火）	秋編（人参さつま芋ピザ、スイートポテト）	6	2
12/15（火）	冬編（クリスマスケーキ）	16	2
2/18（水）	冬編（ズッキーニピザ、キウイタルト）	2	2
4/5（火）	春編（ほうれん草のキッシュ、特大プリン）	10	2
6/28（火）	初夏編（トマトピラフ、メロンタルト）	13	2
		61	12

③お香のてならい（粕谷恵さん）

第 16 期は、講座で使用する原料を里山のヒノキを使用し。参加者からは好評をいただいた。お香原料は山野草木や花々であり、里山に自生するものも数多い。そういった身近にある（時に漢方としても用いられる）自然の植物の持つ力の恩恵を、古来より人々がどのように受け、受け継いで来たのかという知恵を、深めて伝えたい。また、NORAの活動との接点を鑑み、香原料作りなども実施したい。

実施日	内 容	参加者	スタッフ
9/11（金）	お線香作り体験	1	1
9/19（土）	コーン型お線香	1	1
1/12（火）	塗香	1	1
2/19（金）	印香	1	1
4/30（土）	匂い袋	1	1

5/15 (日)	お香をつくろう～復興支援編	3	1
5/20 (金)	塗香	1	1
5/21 (土)	匂い袋、文香、名刺香	2	1
		11	9

④自然素材でコスメづくり (北爪彩子さん)

開催回数は少ないが、参加者がほぼリピーター。参加者からは「一度参加しないとこの良さが分かりませんね」と言われるので、参加してもらうまでのプロセスを練る必要がある。

実施日	内容	参加者	スタッフ
10/25 (日)	石鹸作り	2	1
11/8 (日)	石鹸作り～その2	5	2
11/23 (月)	ハンドクリーム作り	3	1
1/17 (日)	リップクリームづくり	2	1
2/9 (火)	リップクリームづくり	2	1
		14	7

(7) はまどまシアター (共催：郷土映像ラボラトリー)

民族文化映像研究所の約120本ある記録映画の上映会で、2015年6月末から再開した。中川美帆さんが主宰する「郷土映像ラボラトリー」との共催により、ほぼ月一回の定期上映が可能となった上映日程、時間、宣伝方法など試行錯誤の一年だったが、来期の年間計画づくりにつなげることができた。

実施日	作品	参加者	スタッフ
8/29 (土)	『諸鈍シバヤ』『与論の十五夜踊り』	12	3
10/3 (土)	『奄美のノロのまつり』	12	3
11/3 (火)	『アイヌの結婚式』『竹縄のさと』	12	3
12/20 (日)	『チセ・ア・カラ』『佐仁の8月踊り』	9	3
1/24 (日)	『喜界島の8月行事』『奄美の泥染め』	12	3
2/28 (日)	『椿山』	7	3
3/27 (日)	『七島正月とシチゲー』『アイヌの結婚式』	5	3
5/22 (日)	『からむしと麻』『神と紙』	6	3
6/29 (水)	『山人の舟作り』*	8	3
		83	27

※よこはまかわを考える会と共催

(8) 地域連携・その他

- ・8/23 (日) 町内会盆踊りに流し素麺台を設置。8/22 (土) -23 (日) 盆踊りでは、はまどま仲間つながりて15名余り参加。
- ・9/20 (日) 光のぷろむなあと実行委員会のメンバーとして金沢文庫芸術祭にブース参加2名。
- ・9/26 (土) 吉田洋子さんが進める反町のイベントに野菜販売で1名参加。
- ・10/24 (土) -25 (日) 東京湾大感謝祭開催@ 赤レンガ倉庫・広場に2名参加。
- ・11/1 (日) フォーラム南太田まつりに1名参加。
- ・12/12 (土) -13 (日) 大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと」出店

- 「光の胎内」(勝野アート&かたりべの会) 6名参加。
- 「神奈川野菜でけんちん汁」(103食完売) 4名参加。
- ・1/9 (土) 浦舟の「南区こども新年会」の蒔田歴史かるた大会に1名参加。
- 1/17 (日) 新春蒔田歴史かるた会に1名参加開催。
- ・3/27 (日) 町内会子ども会「お楽しみ会」で紙芝居、絵本読み聞かせ、蒔田歴史カルタ、3名参加。
- ・6/5 (日) 蒔田公園ふれあいパークまつりに出店。チラシは勝野が作成。
- 降雨中は野菜市、雨が止んでからは竹笛作り。準備含め、のべ5名参加。
- ・6/12 (日) 光のぷろむなあとキックオフミーティングに2名参加。

2) まいたエコサロンの会

地域の環境活動拠点として横浜市と構成団体が協働して運営に関わっているが、NORAとしては「はまどま」の活用の優先順位が高く、第16期は会合にも参加できず、ほとんど活動しなかった。

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

2015年11月8日(日)開催。前日8名、当日11名がスタッフ参加。雨天の一日となったが、多数の来店者があった。雨天での開催を労う言葉をかけて下さる方々も多く、10年継続してきた成果のひとつと思われた。秋の端境期明けの開催日程に合わせて、生産者は大根・小松菜などを作付けしてくれた。

里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪

NPO 法人新治里山「わ」を広げる会/新治里山公園運営プロジェクトが「にいはる里山交流センター」で実施しているイベントへ広報協力するかたちでおこなっている。実施主体は上記プロジェクトの自然観察/インタープリテーション部会。第16期は10回計画して8回開催し(2回は雨天中止)、のべ167人(昨期9回198人)の参加者数となった。

実施日	内容	参加者	スタッフ
7/1 (水)	夏の尾根歩き	雨天中止	
9/2 (水)	秋の七草・新治バージョン	雨天中止	
10/7 (水)	秋の実り	26	2
11/4 (水)	葉っぱ遊び(ステンドグラス)	19	2
12/2 (水)	冬芽観察	13	2
2/3 (水)	野鳥観察	17	2
3/2 (水)	春の七草はいま	20	2
4/6 (水)	里の春を楽しもう	33	2
5/4 (水)	チョウを愛でる	20	2
6/1 (水)	なんちゃってハイ句	19	2

167 16

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

京浜臨海部における生物多様性に配慮した緑の質の向上を目的に、立地企業、市民活動団体、行政、専門家がそれぞれの立場で参加するフォーラムであり、NORAは2015年1月から参加している。第16期

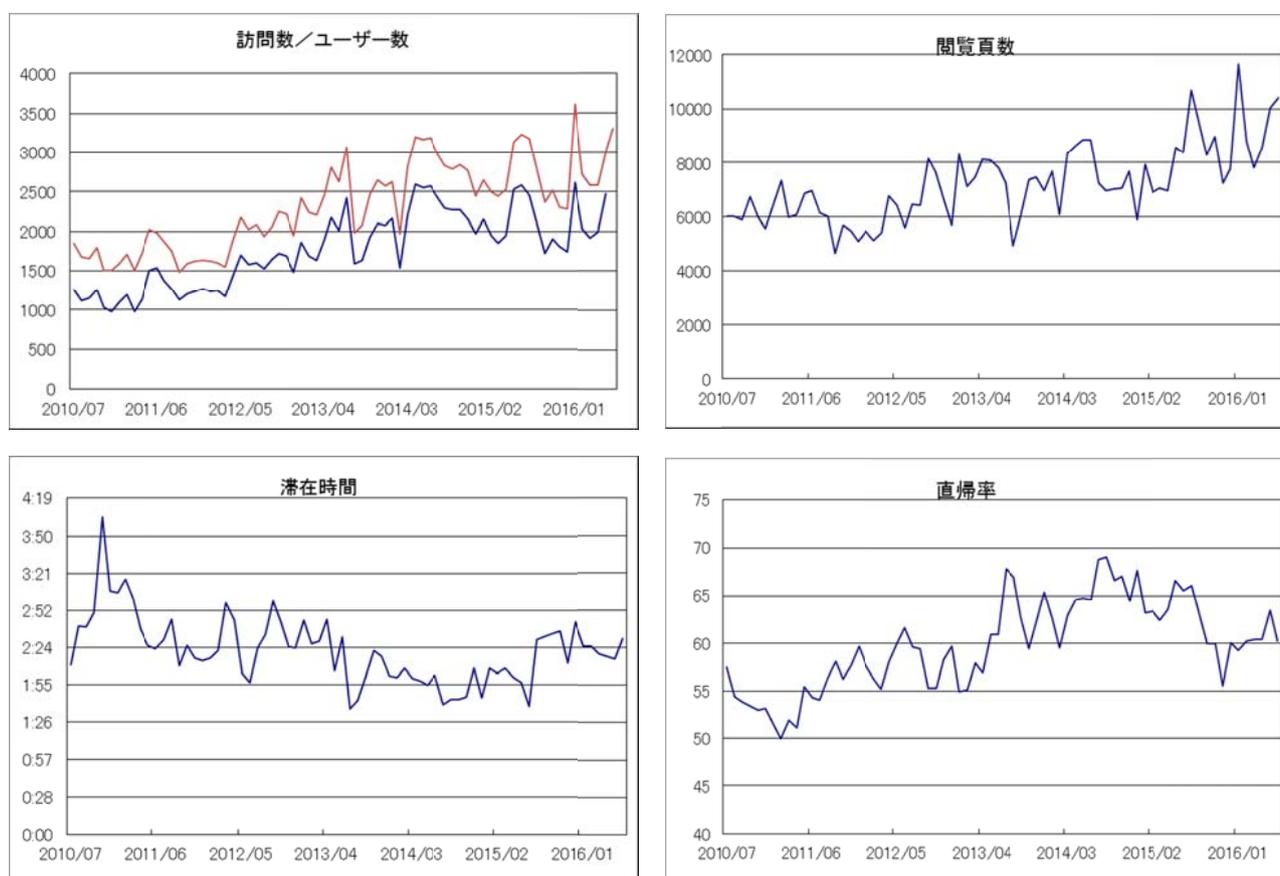
は、トンボ調査等の活動に参加するほか、2016年5月からフォーラムの構成員となった（公財）横浜市緑の協会が管理する本牧市民公園、富岡総合公園、長浜公園におけるトンボとり大作戦に参加した。

6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

第16期も、各プロジェクトの告知、報告記事のアップなど情報発信を定期的におこなった。ブログソフトウェアを変える必要が生じたので、この際、スマホに対応できるようレイアウトを全面的に変更し、8月にドメインを移行して公開した。

ソーシャルメディアの更新も停滞気味だが、それ以上に新しいページの更新が滞りがちである。しかし、訪問数は月平均2,770（昨期2,762）は昨期と変わらず、閲覧頁数は9,118（昨期7,297）と昨期よりかなり増加した。滞在時間は2:26（昨期1:53）、直帰率は60.5%（65.7%）と改善されており、情報発信力は高まっている。この理由としてリニューアル効果も考えられるが、5-6月に数値が急激に改善されていることから、主因は別のところにあると思われる。

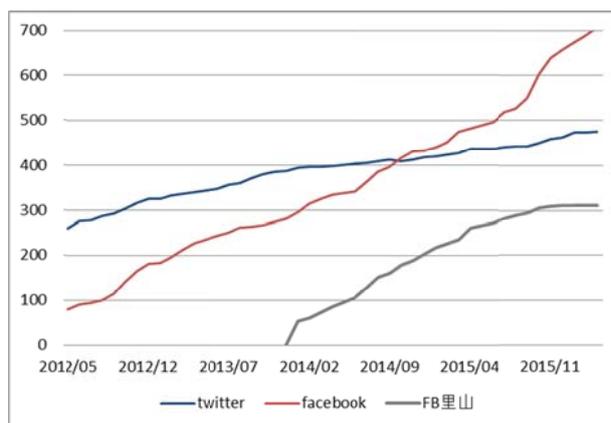


2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」第86～97号を毎月配信した。メルマガは、会員には会員メーリングリスト経由で、事務局が把握している会友・関係者（1,121→1,240→1,282、各年6月現在）には直接メールで配信している。また、メルマガ発行サービス「まぐまぐ！」でも配信しているが、読者数は減少傾向にある（286→304→290、各年6月現在）。毎号1,600以上のアドレスに情報を配信しており、日ごとのサイト訪問数はメルマガ配信後に毎回急増することから、SNS全盛の時代であっても、依然としてメルマガが重要な広報媒体となっている。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

twitterを利用して情報を発信し、フォロワーは増加しているが(396→427→478、各年6月現在)、ツイート数が減少している。ウェブサイトの更新よりもfacebookでの情報発信に力点を置くようになっており、「いいね!」の数は順調に増加した(326→475→716、各年6月現在)。特に、1-2月に急増したのは、「まちの近くで里山をいかすシゴトづくり」に関する情報にニーズが高いことを示している。facebookグループ「里山とかかわる暮らしを」では、それぞれのかかわり方をfacebookに投稿・シェアして、里山とかかわる暮らしの普及を図っているが、メンバー数は313(73→235、各年6月現在)で増加傾向が鈍ってきている。



4) 中間報告書の作成

2015年末、簡易的なカラー版「2015年活動報告」を制作し、会員・会友に配付した。これは、年越し前に報告を送付するとともに、年会費を請求するねらいがある。実際、1月には会費を振り込む会員が増えた。

協働・受託事業

里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

1) ビオトープ整備のアドバイザー派遣(横浜市環境創造局みどりアップ推進課)

〈実施期間:2015年7月~2016年3月,2016年5月~2017年3月〉

平成27年は、ビオトープ整備または整備を検討している横浜市内の小学校7校に対して延べ10回の学校訪問を行い、担当の教員等に対してビオトープ整備や維持管理方法、有効な活用方法等について指導を行った。来期も引き続き、市内小学校等に対してビオトープ整備に関する指導を実施する。

2) 長浜公園トンボ池等管理業務委託(公益財団法人横浜市緑の協会)

〈実施期間:2015年7月~2016年3月,2016年4月~2017年3月〉

今期は、長浜公園のトンボ池等を市民に環境啓発し、生物生息空間の保全・創造するため、トンボ池等の日常管理、水田の作成を行った。

4月からはトンボ池や水田を適正な維持管理、啓発事業として田植え体験やヤゴ救出作戦の実施、トンボとり大作戦をとおした生き物調査などを実施している。

3) 『里山ガイドブック』制作(有隣堂)

2015年度中に発刊と思っていたが、とくに進まず。

4) インターン生の受入

IWAD 環境福祉専門学校から1名インターン生を受け入れた。来期以降も、インターンシップの依頼には応えていきたい。

委員・講師派遣等

1) 委員

○吉武美保子

- ・神奈川県環境農政局公共事業評価委員会
- ・神奈川県自然環境保全審議会自然保護部会

○松村正治

- ・横浜市市民協働推進委員会
 - －市民活動運営支援事業部会
 - －市民協働条例に関する検討ワーキングメンバー
- ・林野庁補助事業「森林づくり活動団体への実態調査・分析」検討委員会

2) 講師・執筆

○吉武美保子

- ・9/27(日)・11/3(祝) インタープリター養成講座フォローアップ研修(主催:横浜市環境創造局)
- ・10/17(土)・11/23(祝) 森づくりボランティア養成講座(主催:横浜市環境創造局)
- ・1/21(木) かながわ里地里山サミット(主催:神奈川県) コーディネーター
- ・2/21(日) 横浜植物会「横浜の里山保全・活用のいま」
- ・3/5(土) 全国ボランティアコーディネーター研究集会「高齢化するボランティアとの向き合い方」
- ・6/14(火) フェリス女学院大学「市民による地産地消・里山保全の取り組み」

○島村雅英

横浜市環境創造局出前講座「ビオトープで小さな生態系を感じてみよう」

実施日	内容		学年等	人数
7/15(木)	浦島小学校	ビオトープの作り方	4年	33
10/5(月)	下和泉小学校	ビオトープとは	5年	28
6/7(火)	大岡小学校	ビオトープの作り方	5年	33
6/22(水)	東汲沢小学校	ビオトープとは	4年	29

123

○松村正治

- ・12/11(金) 第1回よこはま地域福祉フォーラムで分科会コーディネーター
- ・3/6(日) 連続講座第4回「森づくり活動の「今」を知り、「これから」を考えよう！」(主催:NPO 法人森づくりフォーラム)で、森林づくり活動実態調査結果に対するコメントとNORAの活動紹介
- ・『知っておきたいNPOのこと(参加編)』(発行:日本NPOセンター)に「持続性と多様性に価値を置き、自主性と自律性をベースにした参加のしくみ～よこはま里山研究所の場合」を寄稿

○三好豊

- ・5/30(月) 第379回定例会「野菜と民話と演劇をつなぐ『緑の劇場』」(主催:よこはまかわをを考える会)

3) そのほか

[取材・広報など]

- ・1/13 (水) 20 (水) 連続ワークショップ「まちの近くで里山をいかすシゴトづくり」の様子が、都市生活者の農力向上委員会、森ノオト「ecoloco レポート」などで取り上げられた。
- ・『タウンニュース』南区版 (2016年2月18日号) に第100回食事会の様子が掲載された。
- ・『環境ボランティア・なび2016』(関東EPO) にボランティア募集記事を掲載。

第16期(2015.7.1~2016.6.30.予算実績表)

勘定科目名称	予算	実績	差額 (実績-予算)
《経常増減の部》			
【経常収益】			
【受取会費】			
運営会員受取会費	180,000	201,000	21,000
一般会員受取会費	120,000	155,000	35,000
賛助会員受取会費	50,000	40,000	△ 10,000
受取会費 計	350,000	396,000	46,000
【受取寄付金】			
受取寄付金	1,770,000	1,994,590	224,590
受取寄付金 計	1,770,000	1,994,590	224,590
【受取助成金等】			
受取助成金	1,718,000	1,689,464	△ 28,536
受取助成金等 計	1,718,000	1,689,464	△ 28,536
【事業収益】			
自主事業収益	700,000	1,212,028	512,028
販売事業収益	60,000	277,452	217,452
受託事業収益	400,000	1,959,040	1,559,040
事業収益 計	1,160,000	3,448,520	2,288,520
【その他収益】			
受取 利息	0	894	894
雑 収 益	80,000	89,154	9,154
その他収益 計	80,000	90,048	10,048
経常収益 計	5,078,000	7,618,622	2,540,622
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
【売上原価】			
業務委託費(事業)	1,450,000	2,619,000	1,169,000
諸 謝 金(事業)	1,400,000	1,153,270	△ 246,730
印刷製本費(事業)	30,000	7,750	△ 22,250
会 議 費(事業)	5,000	2,655	△ 2,345
旅費交通費(事業)	60,000	41,720	△ 18,280
通信運搬費(事業)	15,000	0	△ 15,000
消耗品 費(事業)	300,000	830,870	530,870
器具備品費(事業)	50,000	245,376	195,376
修 繕 費(事業)	40,000	0	△ 40,000
賃 借 料(事業)	30,000	15,000	△ 15,000
減価償却費(事業)	70,534	70,534	0
保 険 料(事業)	100,000	90,866	△ 9,134
諸 会 費(事業)	5,000	0	△ 5,000
調査研究費(事業)	10,000	0	△ 10,000
支払手数料(事業)	5,000	5,854	854
広告宣伝費(事業)	10,000	0	△ 10,000
販売仕入(事業)	50,000	226,737	176,737
雑 費(事業)	50,000	4,973	△ 45,027
その他経費計	3,680,534	5,314,605	1,634,071
事業費 計	3,680,534	5,314,605	1,634,071
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0	0	0
(その他経費)			
通信運搬費	100,000	109,550	9,550
消耗品 費	35,000	18,290	△ 16,710
水道光熱費	140,000	117,575	△ 22,425
地代 家賃	972,000	972,000	0
諸 会 費	20,000	20,400	400
租税 公課	5,000	4,500	△ 500
支払手数料	40,000	63,570	23,570
交際費	10,000	0	△ 10,000
雑 費	5,000	7,204	2,204
その他経費計	1,327,000	1,313,089	△ 13,911
管理費 計	1,327,000	1,313,089	△ 13,911
経常費用 計	5,007,534	6,627,694	1,620,160
当期経常増減額	70,466	990,928	920,462
《経常外増減の部》			
【経常外収益】			
経常外収益 計	0	0	0
【経常外費用】			
経常外費用 計	0	0	0
《正味財産増減の部》			
税引前当期正味財産増減額	70,466	990,928	920,462
法人税、住民税及び事業税	70,000	74,500	4,500
当期正味財産増減額	466	916,428	915,962

第16期(2015.7.1～2016.6.30)部門別集計表

	全事業所	事務局	広報	ヤマ(合計)	ヤマ(自主)	ヤマ(販売)	ヤマ(林野庁)	ムラ	受託	全事業所(共通)
《経常増減の部》										
【経常収益】										
【受取会費】										
運営会員受取会費	201,000	201,000	0	0	0	0	0	0	0	0
一般会員受取会費	155,000	155,000	0	0	0	0	0	0	0	0
賛助会員受取会費	40,000	40,000	0	0	0	0	0	0	0	0
受取会費 計	396,000	396,000	0	0	0	0	0	0	0	0
【受取寄付金】										
受取寄付金	1,994,590	537,236	0	1,414,736	1,414,736	0	0	42,618	0	0
受取寄付金 計	1,994,590	537,236	0	1,414,736	1,414,736	0	0	42,618	0	0
【受取助成金等】										
受取助成金	1,689,464	0	0	1,689,464	894,464	0	795,000	0	0	0
受取助成金等 計	1,689,464	0	0	1,689,464	894,464	0	795,000	0	0	0
【事業収益】										
自主事業収益	1,212,028	3,000	0	116,460	116,460	0	0	1,092,568	0	0
販売事業収益	277,452	0	0	277,452	0	277,452	0	0	0	0
受託事業収益	1,959,040	0	0	0	0	0	0	0	1,959,040	0
事業収益 計	3,448,520	3,000	0	393,912	116,460	277,452	0	1,092,568	1,959,040	0
【その他収益】										
受取 利息	894	676	0	124	124	0	0	22	72	0
雑 収 益	89,154	11,154	0	48,000	48,000	0	0	0	30,000	0
その他収益 計	90,048	11,830	0	48,124	48,124	0	0	22	30,072	0
経常収益 計	7,618,622	948,066	0	3,546,236	2,473,784	277,452	795,000	1,135,208	1,989,112	0
【経常費用】										
【事業費】										
(人件費)										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(その他経費)										
業務委託費(事業)	2,619,000	0	190,000	1,285,000	1,234,000	0	51,000	0	1,144,000	0
諸 謝 金(事業)	1,153,270	0	0	1,085,908	340,908	0	745,000	0	67,362	0
印刷製本費(事業)	7,750	0	6,000	1,750	1,750	0	0	0	0	0
会議費(事業)	2,655	0	0	2,655	2,655	0	0	0	0	0
旅費交通費(事業)	41,720	0	0	41,720	41,720	0	0	0	0	0
通信運搬費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品 費(事業)	830,870	0	0	193,255	193,039	216	0	493,703	143,912	0
器具備品費(事業)	245,376	0	0	245,376	245,376	0	0	0	0	0
修 繕 費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
賃借料(事業)	15,000	0	0	15,000	15,000	0	0	0	0	0
減価償却費(事業)	70,534	0	0	70,534	70,534	0	0	0	0	0
保 険 料(事業)	90,866	0	0	53,866	53,866	0	0	37,000	0	0
諸 会 費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調査研究費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料(事業)	5,854	0	0	4,990	4,016	758	216	0	864	0
広告宣伝費(事業)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売仕入(事業)	226,737	0	0	226,737	0	226,737	0	0	0	0
雑費(事業)	4,973	0	0	3,893	0	0	3,893	0	1,080	0
その他経費計	5,314,605	0	196,000	3,230,684	2,202,864	227,711	800,109	530,703	1,357,218	0
事業費 計	5,314,605	0	196,000	3,230,684	2,202,864	227,711	800,109	530,703	1,357,218	0
【管理費】										
(人件費)										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(その他経費)										
通信運搬費	109,550	17,518	0	0	0	0	0	0	0	92,032
消耗品 費	18,290	18,290	0	0	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	117,575	0	0	0	0	0	0	0	0	117,575
地代 家賃	972,000	0	0	0	0	0	0	0	0	972,000
諸 会 費	20,400	20,400	0	0	0	0	0	0	0	0
租税 公課	4,500	4,500	0	0	0	0	0	0	0	0
支払手数料	63,570	63,570	0	0	0	0	0	0	0	0
交際費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑 費	7,204	7,204	0	0	0	0	0	0	0	0
その他経費計	1,313,089	131,482	0	0	0	0	0	0	0	1,181,607
管理費 計	1,313,089	131,482	0	0	0	0	0	0	0	1,181,607
経常費用 計	6,627,694	131,482	196,000	3,230,684	2,202,864	227,711	800,109	530,703	1,357,218	1,181,607
当期経常増減額	990,928	816,584	-196,000	315,552	270,920	49,741	-5,109	604,505	631,894	-1,181,607
《経常外増減の部》										
【経常外収益】										
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
【経常外費用】										
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
《正味財産増減の部》										
税引前当期正味財産増減額	990,928	816,584	-196,000	315,552	270,920	49,741	-5,109	604,505	631,894	-1,181,607
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	916,428	742,084	-196,000	315,552	270,920	49,741	-5,109	604,505	631,894	-1,181,607
前期繰越正味財産額	7,371,906									
次期繰越正味財産額	8,288,334									

活動計算書

(単位:円)

特定非営利活動法人よこはま里山研究所

自 2015年 7月 1日 至 2016年 6月30日

【経常収益】		
【受取会費】		
運営会員受取会費	201,000	
一般会員受取会費	155,000	
賛助会員受取会費	40,000	396,000
【受取寄付金】		
受取寄付金		1,994,590
【受取助成金等】		
受取助成金		1,689,464
【事業収益】		
自主事業収入	1,212,028	
販売事業収入	277,452	
受託事業収入	1,959,040	3,448,520
【その他収益】		
受取 利息	894	
雑 収 入	89,154	90,048
経常収益 計		7,618,622
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
業務委託費(事業)	2,619,000	
諸 謝 金(事業)	1,153,270	
印刷製本費(事業)	7,750	
会 議 費(事業)	2,655	
旅費交通費(事業)	41,720	
消耗品 費(事業)	830,870	
器具備品費(事業)	245,376	
賃 借 料(事業)	15,000	
減価償却費(事業)	70,534	
保 険 料(事業)	90,866	
支払手数料(事業)	5,854	
販売仕入(事業)	226,737	
雑 費(事業)	4,973	
その他経費計	5,314,605	
事業費 計		5,314,605
【管理費】		
(人件費)		
人件費計	0	
(その他経費)		
通信運搬費	109,550	
消耗品 費	18,290	
水道光熱費	117,575	
地代 家賃	972,000	
諸 会 費	20,400	
租税 公課	4,500	
市民環境税	(4,500)	
支払手数料	63,570	
雑 費	7,204	
その他経費計	1,313,089	
管理費 計		1,313,089
経常費用 計		6,627,694
当期経常増減額		990,928
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		990,928
法人税、住民税及び事業税		74,500
当期正味財産増減額		916,428
前期繰越正味財産額		7,371,906
次期繰越正味財産額		8,288,334

貸借対照表

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

(単位：円)
2016年 6月30日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		預り金	1,757
小口現金	83,670	納税充当金	74,500
普通預金	7,729,526	流動負債計	76,257
現金・預金計	7,813,196	負債合計	76,257
(その他流動資産)		正味財産の部	
前払費用	81,000	【正味財産】	
その他流動資産計	81,000	前期繰越正味財産額	7,371,906
流動資産合計	7,894,196	当期正味財産増減額	916,428
【固定資産】		正味財産計	8,288,334
(有形固定資産)		正味財産合計	8,288,334
機械及び装置	154,815		
有形固定資産計	154,815		
(無形固定資産)			
電話加入権	89,880		
無形固定資産計	89,880		
(投資その他の資産)			
敷金	225,700		
投資その他の資産計	225,700		
固定資産合計	470,395		
資産合計	8,364,591	負債及び正味財産合計	8,364,591

財 産 目 録

特定非営利活動法人よこはま里山研究所
全事業所

(単位：円)
2016年 6月30日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

小口 現金	83,670
小口現金 (ヤマ)	(81,396)
小口現金 (島村)	(2,274)
普通 預金	7,729,526
横浜銀行本郷台支店 (本部)	(4,468,243)
横浜銀行上大岡支店 (吉武)	(497,806)
横浜銀行阪東橋支店 (ヤマ)	(464,602)
横浜銀行阪東橋支店 (島村)	(688,423)
ゆうちょ銀行宿町 (どま)	(215,325)
ゆうちょ銀行振替	(1,395,127)
現金・預金 計	7,813,196

(その他流動資産)

前払 費用	81,000
その他流動資産 計	81,000

流動資産合計

7,894,196

【固定資産】

(有形固定資産)

機械及び装置	154,815
有形固定資産 計	154,815

(無形固定資産)

電話加入権	89,880
無形固定資産 計	89,880

(投資その他の資産)

敷 金	225,700
投資その他の資産 計	225,700

固定資産合計

470,395

資産の部 合計

8,364,591

《負債の部》

【流動負債】

預 り 金	1,757
源泉預り金 (謝礼金)	(1,757)
納税充当金	74,500

流動負債 計

76,257

負債の部 合計

76,257

正味財産

8,288,334

監査報告書

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所
理事長 松村正治 殿

第16期事業年度（2015年7月1日から2016年6月30日まで）の事業報告、活動計算書、貸借対照表、財産目録を監査した結果、法令や定款に則して適切に処理、記載されていることを認める。

以上

2016年 8月 27日

特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

監事

早石真司 

第3号議案 第17期事業計画（2016年7月～2017年6月）

第17期は、「里山とかかわる暮らし」を提案し、里山文化に親しむ仲間の輪を広げつつ、一方で、持続的に事業を運営していくための方策を考え、実験的に試みていく。そのなかで、里山でのシゴトづくりを積極的に取り組み、そのプロセスを情報発信しながら、社会-里山の関係を支えるコミュニティづくりを進める。

自主事業の定例活動については、新たな人材が活躍する場を設けながら、着実に実施していく。今期中に、林野庁および神奈川県から継続して得ていた交付金・補助金が切れるが、その後も安定して自立的に活動を継続できるように変革を図る。また、緑の募金からの助成と、かんぼ生命保険（株）からの寄附を得られた「よこはま里山レンジャーズ」「まちの近くで里山をいかすシゴトづくり」では、有機的に活動を展開して里山保全・環境教育等に意欲のある若者を巻き込みながら、産業創造・雇用創出へと繋げる。そのためには、里山の経済的価値を掘り起こすとともに、社会的・環境的価値をわかりやすく可視化する必要がある。そして、経済的価値は受益者が負担するように、社会的・環境的価値については一般寄附や公共機関・助成機関からの支援が得られるようにしていく。

「はまどま」プロジェクトでは、周到に活動計画・広報戦略を立てながら、「はまどま」を支えるコミュニティづくりをすすめ、収益性の向上に努める。場の持っている可能性を引き出すことで、財政的に自立できる運営を目指していく。そのために、広報媒体の使い分けや情報発信する体制の見直しも進める。

全体として、事業運営に関わる中心的なメンバーが固定化してきているので、従来の枠組みにとらわれない発想で、積極的に会員・参加者・関係者を巻き込むように努める。その結果として、「里山とかかわる暮らし」を大切にする文化が広がり、里山の資源・空間をいかしたシゴトづくりが進み、仕事と暮らしの両面から必要とされるNPOになるという段階（サードステージ）へと突入していくことを目指したい。

自主事業

1. ヤマ事業

1) NORAの山仕事 {別紙計画書のとおり}

2) よこはま里山レンジャーズ {別紙計画書のとおり}

3) 竹を活かす山仕事 {別紙計画書のとおり}

4) 山道具の安全使用

安全に緑地保全活動をおこなうために適切な機材使用をすすめ、販売収入180,000円程度を予定する。

5) まちの近くで里山をいかすシゴトづくり {別紙計画書のとおり}

2. ノラ事業

1) 森と畑と音楽と {別紙計画書のとおり}

3. ムラ事業

1) はまどまプロジェクト

(1) NORA野菜市

毎週火曜日、大和ビル駐車場で野菜市を開き、身近に交流できる生産者の農産物を日々の暮らしに活かす機会を創出する。

(2) 神奈川野菜の食事会 {別紙計画書のとおり}

(3) もったいないから竹細工 {別紙計画書のとおり}

(4) はまどまで土間仕事 {別紙計画書のとおり}

(5) NORA サロン

原則、隔月で話題提供者を招き、食事を取りながら、気軽に学ぶ機会を提供する。

(6) はまどま手習い塾 {別紙計画書のとおり}

神奈川県野菜を薬膳で／季節の素材でスイーツメイキング／お香のてならい／自然の素材でコスメづくり

(7) はまどまシアター {別紙計画書のとおり}

4. ハレ事業

1) 伊勢佐木町地モノ市

2016年秋、伊勢佐木町商店街のエコイベントに参加するかたちで「地モノ市」を開催する。

2) まいたエコサロンの会

まいたエコサロンの会の一員として、適宜、ネットワーク活動に協力する。

5. イキモノ事業

1) 旬の里山探訪 {別紙計画書のとおり}

2) トンボはどこまで飛ぶかフォーラム

フォーラムの一員として、森里川海との連携を図り、生物多様性の保全に繋がる活動をおこなう。

6. 広報事業

1) ウェブサイトの更新

twitter・facebook との連携を進めるほか、ブログ記事・情報の更新頻度を上げ、より効果のある広報媒体を目指す。記事の掲載については、一部の会員に負担が集中しないよう役割分担を進める。

2) 「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信

ウェブサイトと連携しながら、月に1回以上定期的に配信して、効果的に情報を発信する。

第100号を2016年9月に配信するので、この機会にかつて発行していた情報紙『のらくらぶ』をウェブサイトにも公開するとともに、新しいコラムを始める。

3) ソーシャルメディアによる情報発信

twitter・facebook を利用して、柔軟に迅速に情報を発信する。

協働・受託事業

(公財)横浜市緑の協会からの受託事業「長浜公園トンボ池管理等業務」、横浜市環境創造局からの受託事業「横浜市保育所・小中学校等ビオトープ整備等指導業務」を実施するほか、適宜、社会のニーズに応じて協働・受託事業を進める。

ボランティア体験、インターンシップの受入は、可能な限り引き受ける。

委員・講師派遣

行政・NPO・大学等からの求めに応じて、里山保全や市民活動等に関する委員・講師を派遣する。

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	NORA のヤマ仕事		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	中林博志、大嶋邦佳		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「利用する森」をコンセプトにして、手入れによって豊かな森をつくる。 ・ 森の恵みを様々なかたちで利用して、森とかかわる暮らしを横浜で実践する。 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期に引き続き、除伐・間伐材を有効活用するため、保管方法を改善する。 ● 定例活動に加え「やま守り編」を実施する事で、参加者の新たなニーズを呼び込む。 ● 活動日を増やして、林内に蓄積された廃材処理を促進する。 ● 参加者が快適に森内で作業できるように環境を整える。 		
内容	劣性木の間伐、常緑樹の除伐、下草刈、落葉樹の育苗から定植など、豊かな森づくりを目標に作業を行っている。間伐材を有効活用するために、丸太を製材しスツールなどの木工品を製作したり、薪などにも利用している。		
日時 (毎月)	定例:第 2・第 4 日曜日、やま守り編:第 1 日曜日第 3 月曜日 実施時間 10:00～16:00		
場所	旭区下川井町地内 川井特別緑地保全地区(5.3ha) 通称:川井緑地		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	10:00 川井緑地に集合 ミーティングで作業内容、使用する道具、安全確認を実施 10:30 午前の作業開始 12:00 昼食 13:00 午後の作業開始 15:00 作業終了 道具の整備、活動の振り返りと予定を確認 16:00 解散		
一般募集の有無	有:人数未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	無		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほ か、合計も記入)	林野庁交付金	816,000 円	森林・山村多面的機能発揮対策 緑の募金 かんぼ生保、作業支援など
	助成金	230,000 円	
	寄付金	274,000 円	
	合計	1,320,000 円	
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほ か、合計も記入)	グリーンボランティア保険	108,000 円	@3,000 円*36 回
	委託費	360,000 円	@30,000 万円*12 か月
	資機材購入費	78,000 円	チェーンソーなど
	消耗品費	74,000 円	燃料・工具修理等
	活動謝礼金	700,000 円	@5,000×140 人(10 人*2 回*7 か月)
	合計	1,320,000 円	
収支見込額(a-b)	0		
備考(他団体との連携等 を適当に記入)			
作成年月日	2016.08.08	作成者名	中林博志

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	よこはま里山レンジャーズ		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	島村雅英		
スタッフ (リーダーを除く)	よこはま里山レンジャーズプロジェクトメンバー(松村、下山、吉武、中林) 自然環境復元協会(連携)		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・特に若者が里山保全活動に参加する。 ・既存の環境活動団体の活性化を支援する。 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・若手リーダーを育成する。 ・プロジェクト実施継続のための資金調達を確保する。 ・延べ 10 回のプログラムを実施する。 		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・若手のレンジャー経験者や受け入れ団体等を対象としたリーダー育成研修会を開催。 ・事業所や指定管理者などからの活動資金提供を模索しながら、引き続き、自然環境復元協会と連携して、レンジャーズ派遣を行う。 ・作業内容は、基本的に下草刈り、間伐材の搬出、簡単な枝打ち、落ち葉かきなど軽作業を基本とし、チェーンソーによる伐採等危険が伴う作業は行わない。 		
日時	不定期、計 10 回程度		
場所	ボランティアサイト: 恩田の谷戸、桜ヶ丘緑地、川井緑地、瀬上市民の森、 有償サイト: 入船公園、新治の谷戸田、長浜公園、元町公園プール		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	8 月: 研修計画の作成、活動資金調達の検討 9 月～3 月: レンジャーズ活動(月 1 回程度) 11 月～2 月: リーダー育成研修開催 4 月: 2017 年活動計画の作成、5 月 レンジャーズ派遣再開		
一般募集の有無	レンジャー登録会員対象、1 回あたり 10～20 人 レンジャー登録は一般募集有、メルマガ・HP、自然環境復元協会からの呼びかけ		
参加費の有無	無し		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	合計 392,000 円 有償サイトからの資金調達: 110,000 円@30,000 円×3 回=90,000 円、@10,000 円×2 回 リーダー研修会 282,000 円: 国土緑化助成金 142,000 円、かんぽ生命 140,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	協力金 50,000 円 自然環境復元協会 有償箇所 @10,000 円×5 回 リーダー研修会 282,000 円 講師謝金 @30,000 円×4 人日=120,000 @50,000 円×2 人=100,000 円 講師交通費 @40,000 円×1 人=40,000、@4,000 円×3 人=12,000 講師宿泊費 @10,000 円×2 泊 @10,000 円×2 泊=10,000 円 講座講師 航空券代 福岡～東京往復 @30,000 円×1 人=30,000 円		
収支見込額(a-b)	60,000 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)	レンジャーズ名簿管理: 自然環境復元協会 受入れ団体: 恩田の谷戸ファンクラブ、瀬上市民の森愛護会、にいほる「わ」を広げる会、 桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト、横浜市緑の協会、日産クリエイティブサービス 横浜にとんぼを育てる会		
作成年月日	2016 年 7 月 25 日	作成者名	島村雅英

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	竹を活かす山仕事 (平成 28 年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	下山康博		
スタッフ	宮原正樹		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑や水源林である山々を侵食する竹林の手入れを行なう ・ 竹林整備を行なうことで、恵ある里山の生態系を維持する ・ 整備活動によって排出された竹材を有効活用する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業への継続的な参加者を募ると共に、運営を担えるスタッフを募る ・ 中井町が所有する竹林の整備に着手する ・ 良質な材を生産できる竹林を目標とし、整備を行う 		
内容	南足柄郡中井町にある竹林において、竹の間伐作業を行う。 切り出した竹は、竹ひご作りの練習用に用いたり、カトラリーを製作する材料として活用する。 ※8 月～9 月の間は、伐り出し作業は無し		
日時	毎月第 1 日曜日 10:00～15:00		
場所	南足柄郡中井町		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9:00 京浜急行 上大岡駅集合(10:00 ミニストップ下曾我店) 10:30 現地到着 作業開始 12:00 昼休み 13:00 作業再開 14:00 作業終了 材の積み込み 15:00 現地解散		
一般募集の有無	有：人数未定 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有：@500 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 500 円×4×10 回		20,000 円
	もったいないから竹細工収益		20,000 円
	市民事業補助金		159,000 円
	計		199,000 円
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	物品費		61,000 円
	旅費交通費		21,000 円
	保険料		6,000 円
	報償謝礼費		100,000 円
	事務費		11,000 円
	計		199,000 円
収支見込額(a-b)	0 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	平成 28 年 6 月 30 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	まちの近くで里山をいかすシゴトづくりプロジェクト		
カテゴリー	ヤマ		
リーダー	松村正治		
スタッフ (リーダーを除く)	島村雅英、富永一夫、吉武美保子、石田周一、鈴木慈子 +プロジェクトメンバー17名		
目的 (箇条書きで記入)	3年間で里山シゴトづくりに関する人・団体等のネットワークをつくり、いくつかのビジネスモデルをつくり、雑誌の発行、サイトの立ち上げ、拠点の運営まで持って行きたい。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに関心のあるメンバー100人のネットワークを構築する。 ・里山シゴトの100事例を収集する。 ・ブランディングのためのデザインコンセプトを固める。 		
内容	3年間のプロジェクトの1年目として活動を進め、里山でシゴトする若手実践家、社会的起業家をサポートしつつ、その社会実験の経過を発信しながら、必要な資金を調達するための仕組みをつくる。		
日時			
場所			
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	9月 テーマ別WS①(薪、バイオマス) 10月 テーマ別WS②(都市農業、CSA) 11月 公開シンポジウム(世代交代) 1月 公開ワークショップ(シゴトづくりPJ報告) 2月 環境教育関東 mtg WS③ 4月 テーマ別WS④ 5月 テーマ別WS⑤		
一般募集の有無	有(公開の場合)		
参加費の有無	有(公開の場合)		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	寄附金 自主事業収入	370千円 60千円	かんぽ生命保険 @500円×120名
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	謝金 業務委託費 旅費交通費 消耗品費	200千円 200千円 20千円 10千円	チラシ・ウェブデザイン等
収支見込額(a-b)	0円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2016年7月25日	作成者名	松村正治

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	神奈川県野菜の食事会		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊・勝野真美・遠藤ミホ・内倉和子		
スタッフ (リーダーを除く)	随時募集		
目的 (箇条書きで記入)	身近な交流できる生産者を訪ね、日々の暮らしに活かす神奈川の農産物を中心に、食卓を囲む食事会を開催し、仲間の出会い、コミュニケーションの場を設ける。		
目標 (今期の具体的な目標を箇条書きで記入)	様々な様式の食事会を、各リーダーを得て開催する。		
内容	年間計画の作成 「神奈川県野菜の食事会」 「薬膳で神奈川県野菜の食事会」 「遠藤ミホさんと一緒に作る季節の食卓～神奈川県野菜の食事会～」秋・春		
日時	別途		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は実施日のスケジュール)	3 種類の食事会を組み合わせる年間 10 回程度開催		
一般募集の有無	有り		
参加費の有無	有り		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)	食事会により参加費が異なります。 参加人数は平均 10 名 年間開催回数 10 回		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)	参加人数 10 名 × 500 円 × 10 回 = 50000 円		
備考(他団体との連携等を適当に記入)			
作成年月日	2016 年 7 月 25 日	作成者名	三好豊

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	もったいないから竹細工 (平成 28 年度神奈川県水源環境保全・再生市民事業支援補助金)		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	下山康博		
スタッフ(リーダーを除く)	講師:山口和美 アシスタント:松坂義之		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹林整備で排出された竹材を有効活用する ・ 竹材から竹ひごを製作し、竹籠などの竹細工を作る ・ 竹細工の技術を身近に感じてもらい、ものづくりの楽しさを体験する 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規を含めた参加者の継続的な関わりを推奨する ・ 参加者のスキルアップ(材料の製作から運営を意識できるメンバーの育成を含む) ・ 平日の実施日を増設することで、新たな参加者層の開拓を図る 		
内容	毎月第二土曜日に、竹かご教室を実施する。 7 作品(全 12 回)にて一区切りをつけ、修了後は工房作業への参加を促す 第三木曜・第四土曜日に、竹ひご作りの練習や竹かご製作、カトラリー作り等 WS を行う		
日時	毎月第二土曜日(竹かご教室) 第三木曜・第四土曜日(工房作業) 13:00～16:00		
場所	はまどま		
年間スケジュール			
一般募集の有無	有:定員 10 名 (NORA メルマガ・HP などの広報媒体で一般募集)		
参加費の有無	有:@2,000 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記すほ か、合計も記入)	参加費 竹かご教室(@2,000 円×10 名×12 回) 竹工房 (@2,000 円×16 名×24 回) ※土曜日 10 名 平日 6 名試算 助成金 計		240,000 円 768,000 円 716,000 円 1,724,000 円
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記すほ か、合計も記入)	【助成金内訳】 物品費 旅費交通費 使用料及び賃借料 報償・謝礼費 事務費 竹を活かすヤマ仕事へ補填 交際費 積立金 合計		180,000 円 11,000 円 170,000 円 516,000 円 19,000 円 20,000 円 40,000 円 768,000 円 1,724,000 円
収支見込額(a-b)	0 円		
備考			
作成年月日	平成 28 年 6 月 30 日	作成者名	下山康博

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	はまどまで土間仕事		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	勝野真美		
スタッフ (リーダーを除く)			
目的 (箇条書きで記入)	梅やらつきょう、味噌作りなど、昔はみんなで集まって作業をしながら作っていたであろう季節の手作り保存食品をはまどまで作る。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	季節の素材から作るパワーのある保存食をおしゃべりしながら…昔の土間で作業をしているような感覚で。心にも体にも良いおいしい保存食品に仕上げていく。		
内容	主に三好さんが持ってくる神奈川産の素材を使って季節の保存食を作っていく。		
日時	二か月に1回(できれば月1でやっていきたい)		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	他の使用にあたらな、どこか1日を使用		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	作るものによって値段が違うが、概ね 3,000 円～5,000 円 参加者平均 5 名…3,000 円× 5 名 = 15,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	使用料 1時間 500 円×2時間 = 1,000 円 素材によって金額が違うがだいたい1人材料代で 1800 円ほど 1,800 円×5人 = 9,000 円と使用料 1,000 円と講師に 3,000 円ほどのお礼		
収支見込額(a-b)	2,000 円(会で使う素材によって変わってきます)		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2016 年 8 月 8 日(月)	作成者名	勝野真美

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	神奈川県野菜を薬膳で(神奈川県野菜の食事会)		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	内倉和子		
スタッフ (リーダーを除く)	勝野真美		
目的 (箇条書きで記入)	季節の野菜を料理する…そこに「薬膳」の要素を取り入れ、神奈川県野菜と組み合わせ、心と体と旬を味わいながら食べる。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	旬の神奈川県野菜と家庭でも使える薬膳の知恵を使えば、もっと心と体に良い食卓を味わえることを共有する。		
内容	内倉和子さんが習ってきた薬膳料理教室のメニューを基に、神奈川県野菜と旬の素材を使って献立を作る。料理から参加と食べるだけメンバーを設けて、気軽に参加できるようにしている。		
日時	月1回、内倉さんの予定に合わせた日曜日(第3か第4)		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	月1回、内倉さんの予定に合わせた日曜日(第3か第4)		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 NORA 会員 1500 円/一般 2000 円・小学生 500 円・未就学児童無料 一般 2 名、会員 2～3 名という参加パターンが多い… $2,000 \times 4 = 8,000$ 円、 $1,500 \times 3 = 4,500$ 円、合計 12,500 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	材料費…約 4,000 円、内倉さんへお礼…3,000 円		
収支見込額(a-b)	5,500 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2016 年 8 月 8 日(月)	作成者名	勝野真美

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	季節の素材でスイーツメイキング		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	山本美香		
スタッフ (リーダーを除く)	勝野真美		
目的 (箇条書きで記入)	季節の野菜を料理、スイーツに盛り込むことで、野菜市と同じ曜日で開催し、そのまま野菜が買えるという誘導を積極的にできる。野菜市へのいつもの違う客層を…野菜市に呼び込む。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	野菜市からの誘導のお客さんをもっと増やしたい。使用した野菜の生産者情報や、簡単レシピも作って配布する。		
内容	野菜市の素材を使って、食事会とは違った「スイーツ」をメインに、山本美香さんにメニューからスイーツの作成を行ってもらう。季節感と今までとは違う客層をはまどまに呼び込む。		
日時	月1回、美香さんの予定に合わせた火曜日		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	月1回、美香さんの予定に合わせた火曜日		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 大人 1,500 円、中学生 800 円、小学生 500 円、未就学児無料 だいたい大人8人前後、小学生2名前後の参加で推移している。 …1,500 円×8=12,000 円、500 円×2=1,000 円で約 13,000 円前後		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	材料費…約 7,000 円、美香さんへお礼…3,000 円		
収支見込額(a-b)	3,000 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2016 年 8 月 8 日(月)	作成者名	勝野真美

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	お香のてならい		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	粕谷恵(静流)		
スタッフ (リーダーを除く)	なし		
目的 (箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・お香を通して自然界の恵み(思考)が人の持つ本来の力をあげてゆくことを感じてもらう ・地球、自然からいただく恵みにより、調和や循環を感じてもらう(※自然界・人間・自然界と人間に起こる調和と循環を考えるきっかけ) 		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・お香本来の世界観とその原材料である香原料(里山に自生する野草、木々、花など)との関わりをもう少し目に見える形にして伝える。 ・里山の植物から香原料づくり、実際に植物採取などもやってみたい。 		
内容	天然、自然の原料でお香(匂い袋、線香、塗香、練香 etc)の手作り体験をしていただく。お香づくりを通して、心身の調和を感じていただけると尚よい。		
日時	毎金 18:00～20:00(18:30～20:30)他日も不定期に希望		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	毎月4回×12ヶ月=48回+α		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 3,500 円～3,800 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2016 年 8 月 8 日(月)	作成者名	粕谷恵

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	自然の素材でコスメづくり		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	北爪彩子		
スタッフ (リーダーを除く)	なし		
目的 (箇条書きで記入)	食べられる材料、自然のもののみで作るコスメで、本来の肌力を取り戻す。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	里山から得られる材料を活用し、摘んだ植物を使ってコスメ作りの展開。		
内容	素材から作る、手作りコスメ講座		
日時	未定。月2回程度。		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	未定。		
一般募集の有無	有		
参加費の有無	有		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	平均 3,000 円/一人当たり		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	会場費 500 円/一人当たり		
収支見込額(a-b)			
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2016 年 8 月 8 日(月)	作成者名	北爪彩子

■NORA 第 17 期プロジェクト計画書(2016 年 7 月～2017 年 6 月)

プロジェクト名	はまどまシアター		
カテゴリー	ムラ		
リーダー	三好豊・中川美帆(郷土映像ラボラトリー)		
スタッフ (リーダーを除く)	島村雅英・川上友之・勝野真美・川嶋一平		
目的 (箇条書きで記入)	日本列島で暮らした人々の生活の技術、自然とのかかわり、祭祀、などの記録映像を鑑賞し、話し合うことをとおして、現代の暮らし方を考える一助にしたい。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	計画的な上映活動の推進。		
内容	年間計画の作成・上映日程と上映作品 上映推進メンバー対象の試写会の開催 メーリングリスト・ホームページに加え、チラシ・ポスターの作成		
日時	原則的に毎月第 4 日曜日に開催(8 月は休み・12 月は第 3 日曜日)		
場所	はまどま		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)			
一般募集の有無	有り		
参加費の有無	有り		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	参加費 2000 円×参加人数 10 名×10 回=200,000 円		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	上映手数料 1500 円×参加人数 10 名×10 回=150,000 円 飲食材料費等 300 円×参加人数 10 名×10 回 30,000 円		
収支見込額(a-b)	20,000 円		
備考(他団体との連携 等を適当に記入)			
作成年月日	2016 年 7 月 25 日	作成者名	三好豊

■NORA/第17期プロジェクト計画書(2016年7月～2017年6月)

プロジェクト名	旬の里山探訪		
カテゴリー	イキモノ		
リーダー	吉武美保子		
スタッフ (リーダーを除く)	新治里山公園運営プロジェクトのメンバー (新治里山「わ」を広げる会への協力)		
目的 (箇条書きで記入)	新治の自然の魅力をその折々に伝えることで、大切に思う仲間を増やすこと。		
目標 (今期の具体的な目標を 箇条書きで記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなメンバーが加わって、スタッフとして対応できるようになること。 ・ガイドの幅や深みが増すように研修を行う。 		
内容	午前中 2 時間程度のルートで、テーマに沿った解説を行いながら、散策する。 スタッフは 2 名。		
日時	毎月第 1 水曜。 午前 10 時～12 時		
場所	にいはる里山交流センター集合		
年間スケジュール (単発のイベントの場合は 実施日のスケジュール)	< 上記参照 > 8 月、1 月はお休み		
一般募集の有無	あり		
参加費の有無	200 円		
収入見込額(a) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)	にいはる里山交流センター事業への協力のため、NORA への収入はなし。		
支出見込額(b) (項目ごとに金額を記す ほか、合計も記入)			
収支見込額(a-b)			
備考 (他団体との連携等を適 当に記入)	新治里山「わ」を広げる会／新治里山公園運営プロジェクトへの協力		
作成年月日	2016 年 8 月 1 日	作成者名	吉武美保子

第4号議案 第17期（2016年7月～2017年6月）予算

[収入]

科目	第15期決算額	第16期予算額	第16期決算額	第17期予算額	備 考
会費	333,000	350,000	396,000	380,000	運営会員@12,000*15+一般会員@3,000*50+賛助会員@10,000*5
自主事業	694,114	700,000	1,212,028	2,400,000	竹細工1,000千円、どま他1,000千円（野菜市300千円）、各事業参加費等
販売収入	365,381	60,000	277,452	180,000	チェーンソー関連消耗品販売180千円
受託	831,240	1,280,000	1,959,040	2,150,000	ピトボフ 指導991千円、長浜公園ピトボフ池966千円、レゾナンス派遣110千円、講座
助成金	1,657,271	1,718,000	1,689,464	2,240,000	神奈川県875千円、林野庁816千円、緑の募金550千円
寄付金	1,528,519	1,770,000	1,994,590	2,000,000	かんぼ生保900千円、ブルボン生保、エコアップ研360千円、個人寄付
雑収入	66,506	80,000	90,048	80,000	講師謝金等
当期収入合計 (A)	5,476,031	5,958,000	7,618,622	9,430,000	

[支出]

	科目	第15期決算額	第16期予算額	第16期決算額	第17期予算額	備 考
事業人件費	給料手当	0		0		研究員給料
	臨時雇賃金	0		0		
	福利厚生費	0		0		
	法定福利費	0		0		社会保険料、労災保険料
事業経費	事業委託費	1,368,023	1,700,000	2,619,000	2,800,000	受託事業1,420千円、山仕事360千円、デザイン料200千円、外注費
	諸謝金	1,379,837	1,580,000	1,153,270	1,800,000	山仕事謝金700千円、竹細工謝礼516千円、講座講師謝礼400千円
	印刷製本費	0	90,000	7,750	30,000	報告書印刷、コピー代
	会議費	0	5,000	2,655	15,000	会議室料、茶代等
	旅費交通費	0	140,000	41,720	100,000	講師旅費
	通信運搬費	17,580	20,000	0	20,000	郵送料、宅急便、備品送料
	消耗品費	286,000	320,000	830,870	1,100,000	チェーンソー等ヤマ道具、工具、はまどま事業経費
	器具備品費	0	50,000	245,376	250,000	
	修繕費	36,992	40,000	0	40,000	
	賃借料	0	40,000	15,000	40,000	レンタカー借上
	減価償却費	102,669	70,534	70,534	48,457	簡易製材機
	保険料	103,015	100,000	90,866	145,000	グリーンボランティア保険108千円、イベント保険37千円
	調査研究費	3,678	20,000	0	40,000	資料購入（竹細工関連等）、研修会参加
	支払手数料	4,198	5,000	5,854	10,000	
広告宣伝費	0	10,000	0	10,000		
管理費	販売仕入	315,889	50,000	226,737	150,000	チェーンソー関連消耗品仕入150千円
	雑費	0	50,000	4,973	30,000	
	通信運搬費	81,188	120,000	109,550	120,000	電話・通信、ネット使用料
	消耗品費	32,400	40,000	18,290	40,000	会計ソフト等
	水道光熱費	138,471	140,000	117,575	140,000	
	地代家賃	972,700	972,000	972,000	972,000	家賃@81,000*12
	諸会費	18,400	20,000	20,400	20,000	町内会費、ネットワーク団体会費
	租税公課	189	5,000	4,500	5,000	
	支払手数料	30,830	40,000	63,570	65,000	ネットバンキング25千円、振込手数料
	交際費	21,600	10,000	0	10,000	
経常外	雑費	578	5,000	7,204	5,000	
	固定資産除却損	0	0	0	0	
	法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	74,500	74,500	
	当期支出合計 (B)	4,984,237	5,712,534	6,702,194	8,079,957	
	当期収支差額 (A)-(B)	491,794	245,466	916,428	1,350,043	